

授業科目	国際経済入門				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	池口 功晃										
授業概要	貿易、地域統合、外国為替、国際金融、国際通貨、貧困問題、環境問題など、国際経済およびその諸問題について主要な論点を学びます。										
授業形態	講義			授業方 法							
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>1. 国際貿易の役割、国際収支の読み方、貿易政策・自由貿易協定(FTA 並びに日本の EPA)をめぐる問題を説明できる。</p> <p>2. 外国為替相場を決定する要因、相場の変動が国内経済に与える影響を説明できる。</p> <p>3. 通貨危機・金融危機がどのように発生するのか、日本にどのような影響を与えるのか説明できる。</p> <p>4. 途上国の貧困問題や環境問題を説明できる。</p> <p>国際経済に関する基本的な知識を身に付け、説明することができる。</p>										
理想的 レベル	国際経済に関するさまざまな新聞・雑誌記事を理解できるようになる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合 (数値)				備考						
試験											
小テスト	50%										
レポート	50%										
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリン グ	T021403J
学習課題 (予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	
該当部分の復習										4	
授業計画											
第1回	授業ガイダンス 国際経済とは何か										
第2回	貿易理論、世界と日本の貿易										
第3回	財政政策と金融政策										
第4回	貿易政策、世界の貿易体制、FTA										
第5回	地域統合、APEC										
第6回	閉鎖マクロ経済モデル										

第7回	開放マクロ経済モデル（1）
第8回	開放マクロ経済モデル（2）
第9回	為替レートの決定
第10回	国際通貨、金本位制、ブレトンウッズ体制
第11回	経済発展と経済開発、GDP 指標の限界
第12回	多国籍企業
第13回	世界の貧困問題と ODA
第14回	地球環境問題と経済学
第15回	総まとめ
テキスト	毎回、講義レジュメを配付します。
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	多和田真（2010）『コンパクト国際経済学』（新世社） 阿部顕三・遠藤正寛（2012）『国際経済学』（有斐閣）
課題に対するフィードバックの方法	小テストは採点后、返却する。
学生へのメッセージ・コメント	経済学の入門レベルの講義を履修しておくことが望ましいですが、授業を通して講義に必要な知識を随時復習していきます。 普段から経済記事や経済ニュースを意識するようにしてください。